

くりはらの大豆だより

宮城県栗原農業改良普及センター

令和4年度 第2号 令和4年7月28日発行

TEL 0228-22-9404

大豆栽培の今後の管理のポイント

- 天候に合わせた湿害・干害対策
- 雑草防除
- 適期の病害虫防除

気象経過

- ・6月：上旬は低温少照で降水量は多くなりました。中下旬は気温は高く、降水量は少なく、日照時間は多く経過しました。
- ・7月：上旬は気温が高く、降水量はやや少なく、日照時間はかなり多くなりました。中旬は気温が低く、降水量は多く、日照時間は少なくなりました。特に、7月15日から16日にかけて大雨となりました。

生育状況

生育量はタンレイが前年より少ない、ミヤギシロメは平年より多い

■生育調査ほ（7月25日調査）

- ・タンレイは降雨の影響により、播種時期が平年より遅くなったため、生育量は前年より少なくなっています。
- ・ミヤギシロメは播種が平年より早かったため、生育量は平年より多くなっています。

表.1 生育調査結果（7月25日調査）

品種 地域		播種期	主莖長	主莖節数	分枝数	開花期
タンレイ 志波姫 刈敷	本年値	6/11	60 cm	12.1 節/本	1.5 本/本	未
	前年差	4日遅	-1	-3.5	-0.2	前年 7/29
ミヤギシロメ 若柳 三田鳥	本年値	5/26	74 cm	13.8 節/本	1.2 本/本	未
	前年差	7日早	-12	-1.1	-0.4	前年 8/5
	平年差	8日早	+26	+3.3	+0.4	平年 8/7

※タンレイは、令和2年より生産者が変更となっているため、平年値はなし。

※平年差は、過去5年（H28,30,R1,R2,R3(H29除く））の平均値との差とする。

■管内の概況

- ・降雨による播種作業の遅れや、湿害等により生育不良となっているほ場があります。また、7月15日から16日にかけての大雨により、若柳・志波姫地区を中心に浸水・冠水被害を受けました。

7月15日から16日の大雨被害を考慮した今後の管理

追肥

- ・ 湿害などにより生育が不良の場合には、生育を回復させるために、硫酸や尿素などの速効性肥料の施用が有効です。

湿害・干害対策

- ・ 開花期以降は、大豆の養水分の吸収が多くなるので、土壌水分を適度に保ち、大豆の根と根粒菌の活性を高く保つことが重要です。

湿害対策 降雨が続く場合に実施

- ◆ 暗きよを開放して、地下排水を促す。
- ◆ 大雨のあとや長雨のときは、排水溝が詰まっているか、また明きよに水が溜まっているかを確認し、必要に応じて修繕する。

干害対策 晴天が続く、土が白く乾きそうな場合に実施

- ◆ 暗きよを閉鎖して、水分保持に努める。

雑草防除

- ・ 雑草の種子を作らせないために、手取りを含め、早めに防除を行いましょう。

アレチウリ・帰化アサガオ類対策

- ◆ 吊り下げノズル等を使用した畦間散布等が可能な場合は、大豆に絡みつく前に早めに散布する。ノズルより高く伸びた雑草は、事前に手取りする必要がある。
- ◆ 吊り下げノズル等がない場合は、可能な限り早めに手取り除草を実施する。
- ◆ 畦畔の雑草は、花が咲いたらすぐに草刈りや除草剤で防除する。

病害虫防除

病害虫防除のポイント

品種や連作状況に合わせ、以下の防除を優先して行う。

- ◆ ミヤギシロメ・タチナガハ…マメシクイガ等のチョウ目幼虫
- ◆ タンレイ…連作ほ場：マメシクイガ等と紫斑病、転作初年目ほ場：紫斑病

主要病害虫の薬剤散布による防除のポイント

病害	紫斑病	<ul style="list-style-type: none">・ 開花期後20～40日に防除* タンレイは2回必須 他は1回・ 同一剤の連用は耐性菌が発生しやすくなるので避ける
子実害虫	マメシクイガ	<ul style="list-style-type: none">・ 1回目: 8/25～9/5, 2回目: 1回目の7～10日後に防除* 発生時期は毎年ほぼ同じ→スケジュール防除* 大豆の連作ほ場では発生が多くなるので、特に注意する
	フタスジ ヒメハムシ	播種時の初期防除に加えて、第2世代成虫の発生盛期（8月下旬～9月上旬）に薬剤散布すると効果的。
吸汁性害虫	ジャガイモヒゲ ナガアブラムシ	<ul style="list-style-type: none">・ 8月下旬～9月上旬に密度がピークに達するので、多発した場合は防除を実施する。・ 防除後も密度が低下しない場合や急激に密度が高まった場合には、薬剤の種類を変えて防除を実施する。・ 葉裏に寄生しているので、薬液は葉裏によくかかるように散布する。
食葉性害虫	オオタバコガ	<ul style="list-style-type: none">・ 1粒ずつ葉裏等に産卵する。若齢幼虫期には展開中の新葉に潜り込むことが多く、外からの観察で発生を確認することは困難になる。・ 中齢幼虫期以降は莢に移動して加害することから、被害が大きくなる傾向がある。発生を確認した場合は速やかに防除を実施する。

オオタバコガ



■ 農薬危害防止運動実施中 実施期間 6月1日～8月31日
農薬の使用に当たっては、必ずラベルに記載された適用病害虫、使用方法、最終有効年限等を確認して、定められた方法を厳守しましょう。
最新の農薬登録情報は、農林水産消費安全技術センターのホームページで確認することができます。

経営所得安定対策等にご加入されている皆様へ【重要なお知らせ】

経営所得安定対策等における自然災害等発生時の対応について

畑作物の直接支払交付金及び水田活用の直接支払交付金については、自然災害等により減収及び収穫皆無となった場合でも一定の条件を満たせば交付対象となります。この場合、被害状況等の確認が必要になりますので、必ず関係機関(地域農業再生協議会、農業共済組合、市町村、JA等)にご相談ください。